

【 2023 年度 聖隷こども園・保育園 施設関係者評価 】

目的：浜松磐田地区の聖隷こども園・保育園が、お互いに客観的な視点で施設評価を行うことで、保育の資質向上を目指す。

**【保育・教育理念】**

聖隷の保育・教育理念が、日常の保育・教育に反映されているか。

- ・愛されて、愛する心を知り、お互いが大切な存在であることを知る。
- ・一人ひとりの違いに気づき、お互いを認め合いながら共に主体的に生活する。
- ・自己発揮できる環境の中で創造性を育てる。
- ・在園、地域の子育て家庭が、心豊かな環境で子育てできるように支援する。

コメント

園長を中心に職員一人ひとりから「園児一人ひとりを丁寧に見守り援助することを大切にしています」との言葉を伺いました。その言葉からも保育・教育理念が共有されていることがわかりました。

また、小規模保育園と特性を活かした保護者への細やかな声掛けや子育て支援がなされていることが伺えました。

**【人権尊重】**

常に子どもの立場に立って、子どもの成長に最善となるような取り組み（関り・配慮）がなされているか。

コメント

小規模園の特性を活かして少人数の園児一人ひとりの成長・発達に応じた丁寧な関わり等からも人権を尊重している様子が伺えました。

0歳児クラス園児の排泄援助の際に、子どもの想いを尊重した結果、保育室の様々な所で行われていたが、排泄環境の配慮と園児自身が見通しを持てるような配慮として、常に同じ場所で行うようにすると良いと思いました。

### 【情報保護】

個人情報の保護は適切であるか。

コメント

入園時に園児の個人情報の取扱いに関する同意書の署名をもらっている。また、職員やその他関係者の個人情報についても配慮がなされていました。

### 【苦情対応】

意見や苦情に対して、適切な対応ができているか。

コメント

公表するような苦情はない。しかし保護者からの小さなご意見も職員全体で周知をしており大きな苦情へと繋がらないように努めていました。

### 【保健・衛生】

園児の感染症等の情報提供、日常の健康観察や感染症の拡大防止等の取り組みがなされているか。

コメント

園児の感染症の情報は、必要に応じて随時、保護者へ発信している。日常の健康観察や感染症対策は、保健部会等の情報を基に適切に行われていました。

### 【安全】

救急・防犯・避難訓練等を通して、職員・園児の安全対応能力の向上を図るための取り組みがなされているか。

コメント

安全管理面は、会議等で全職員に周知されている。園児の事故等は少ないがヒヤリハットが確認された際には、改善点の見直し評価等を行っているため、安全対応能力の向上に努めていました。

### 【運営】

施設・設備の環境や管理等、運営は適切になされているか。

コメント

施設の環境で、不具合が見つかった場合や職員からの報告があった場合には、園長がすぐに対応しており適切に管理されていました。

### 【環境美化】

園内外の清掃、物の整理整頓等、清潔で整然とした環境になっているか。また、季節感等が感じられる工夫がなされているか。

#### コメント

物の整理整頓や清掃等は適切に行われており清潔感が感じられる。また、季節（クリスマス等）の飾りが綺麗に施されていて園の雰囲気温かさが良いと感じました。

### 【保育室】

室内の環境が子どもの発達に合わせて工夫され、玩具等適切に配置されているか。

#### コメント

乳児のいる施設ということもあり、年齢発達に応じた手作りの玩具も豊富にあり、保育者の想いが感じられた。衝立や棚等で適切に区切られており、安心して遊ぶことのできる環境が整えられていました。

### 【保育内容】

全体的な計画に基づき、「歳児別保育目標」を意識した保育が展開されているか。

#### 0歳児

- ・神さまから預かったいのちとして大切にされる
- ・大人の愛情に包まれ、安心して過ごす
- ・意思がしっかり受け止められ、安心して自分らしさを出す

#### 1歳児

- ・保育者の祈りや讃美することを通して、神さまに出会う
- ・歩行と共に行動範囲をひろげ、興味・関心をひろげる
- ・神さまや周りの人たちに守られ、愛されていることを感じる
- ・全身を使ってあそび、言葉や身振りで自分の思いを表す

#### 2歳児

- ・神さまや周りの人たちに守られ、愛されていることを感じる
- ・さまざまなことに興味・関心を持ち、保育者や友だちの中であそびを楽しむ。また、生活面の自立ができるようになる。

#### 3歳児

- ・保育者や友だちと一緒に讃美歌を歌うことやお祈りをすることを喜ぶ
- ・あそびを通してイメージを広げ、社会や自然を理解し、友だちとあそぶことの楽しさやルールの大切さを味わう

#### 4 歳児

- ・保育者や友だちと礼拝を守りながら日々を歩む
- ・あそびを通して基本的な自然や物事の特徴を知り、友だちとのかかわりを通して葛藤を乗り越え、集団生活を豊かにする

#### 5 歳児

- ・一人ひとりが神さまから違った良いものをいただいていることを認め合って過ごす
- ・共同的な活動を通して、子どもたちが自分の役割を知り、互いに認め合いながら、主体的に行事やクラスの運営を行う

#### コメント

子どもたちは、大人（保育者）の関係性の中で日々の生活を送っているため、担任同士の保育観の共有が大切である。小規模園だからこそ、話し合いを密に行う事のできる良さがあると思いました。その中で、子どもの育ちを信じて見守り、丁寧な援助を行えるよう、グループで子どもを導くだけでなく、流れる日課の中で、一人ひとり成長発達や行為のテンポに応じた援助ができるような保育方法を考えていくとより子どもの育ちの保障に繋がっていくと思います。

#### 【全体を通して】

#### コメント

全体的な印象として、愛の溢れる家庭的な雰囲気のある園であると思いました。こども一人ひとりを尊重し、丁寧に保育をしていきたいという職員の共通の想いや願いがありその想いを大切にしながら子どもへの関わりや環境を考えていました。小規模園だからこそ、時には異動職員から他園での様子や情報を聞いたり、研修会等に参加したりして情報を得ながら様々な視点で保育を検討していけるような環境が必要であると思いました。

評価日 2023 年 12 月 8 日

評価者 園 名 聖隷こども園こうのとり豊田

役 職 園長

氏 名 平野 春江